

情報公開文書

下記臨床研究は「JA 北海道厚生連札幌厚生病院倫理委員会」の承認および病院長の許可を得て実施しています。当該試料・診療情報等の使用は研究計画書に従って、個人情報保護に配慮した仮名加工、匿名加工等の処理が適切に行われており、研究対象者の氏名や住所等の個人情報が特定できないよう、個人情報保護法を遵守して安全管理措置を講じた取り扱いを厳守しています。

本研究に関する詳しい情報をご希望でしたら問い合わせ担当者まで直接ご連絡ください。また本研究の成果は専門領域の学会や論文で公表される可能性があります。個人が特定される情報は一切公開しません。

本研究の研究対象者に該当すると思われる方、またはその代理人の方で試料・診療情報等が使用されることについてご了承いただけない場合は担当者にご連絡ください。なおその申出は研究成果の公表前までの受付となりますことをご了承願います。

C 型肝炎ウイルス排除後の病態と予後を規定する因子に関する研究

1 研究の対象

1990 年 4 月から 2025 年 12 月 31 日までの間に JA 北海道厚生連札幌厚生病院肝胆膵内科で C 型肝炎に対し抗ウイルス治療（インターフェロンあるいは直接型抗ウイルス治療）を受けた方。

2 研究目的

C 型肝炎ウイルスの排除後には、肝線維化の改善と発癌率の低下が得られることが知られているものの、その詳細な病態（ウイルス存在時との違い）や長期予後については、まだ十分に分かっていません。本研究では、それら臨床上の疑問点を明らかにすることを目的としています。

3 研究に用いる試料・情報の種類

診療情報：診断名、年齢、性別、身体所見、検査所見（画像、血液検査、ウイルス学的検査）、肝組織所見、治療内容、経過中の肝がん発生の有無、生死（死因）等。

4 研究組織

研究代表機関：広島生命科学研究所 研究代表者：所長・茶山一彰

共同研究機関：札幌厚生病院、大垣市民病院、大分大学

5 情報の提供先・提供方法

上記診療情報等を対象者を識別できないよう個人情報の加工後に C 型肝炎ウイルス排除後の病態の解析のために研究代表施設である広島生命科学研究所へ郵送にて提供します。

6 利益相反に関する事項

本研究は特定の企業等からの資金等の提供は無いため利益相反はありません。

7 お問い合わせ先

JA 北海道厚生連札幌厚生病院（☎：代表 011-261-5331 内線 2170）

研究責任者：肝胆膵内科 髭 修平

問い合わせ担当者：肝胆膵内科 髭 修平